

文科省の萩原補佐が現状報告を 5 分余で説明した後、3 分弱の質疑応答があり、その後第 23 回の議事録が承認された。

池上: そうすと STS 134 の時は、HTV も此の頃上がる予定ですよネエ。

萩原補佐: エエトですネエ、あの、実はその一、133 につられて 134 がずれるんですが、何故こんなに大きくずれるかって云うとですネエ、此の 133 が終わった後に HTV が行ったり ATV が行ったりプログレスの補給があつたりと、他の補給ミッションが色々あってですネ、スペースシャトルが近付けない状況らしくてですネエ、此処まで待たないと次のスペースシャトルが近付けないと云う事だそうです。

池上委員長: アー、そうすと、運ぶ方は沢山あると、問題は持ち帰れない。フッフ。...何か他にご質問御座いませんか。

青江: トーラス XL 何とかかんとか、まあ、100 円換算で 70 億円。随分高いもんですネ。こんなもんですか？ いやまあ、そりゃあ、そんなもんですかネエ。

萩原補佐: エエトですネエ、...(書類を繰って居る)...

青江: 要は、小型ロケットでしようと、トーラスって云うのは、トーラス、小型ロケットが 70 億円、そんな値段なのと。

萩原補佐: そうですネエ、エエト、the launch contract is varied at approximately seventy million dollars....エエト、此れはですネエ、打上げだけではなくて、ミッションサポートであるとか、トラッキング、データ・テレメトリのサポートかですネ、まあ、

色々入っている様です。良く解んないですネエ。

青江: 一寸調べてくれると有難いナァ。

萩原補佐: スペースニュースの情報では一応 70 ミリオン・ドル。

青江: あのー、笹棒に高いと云う感じがするもんだから、あのー、ネエ。此の値段で、小型ロケットで此の値段が大体通用するんなら、

池上委員長: 日本のが安い、ヘッヘ。

青江: おー。フフ、いや、其れだけの話。

池上委員長: はい、分かりました、はい、はい。此れは、フェアリングがチャンと開く様にするには高いんですかネエ、そんな事無い。

萩原補佐: ヘッヘヘヘ。

池上委員長: それではどうも有難う御座いました。エエト、前回の議事要旨...(以下省略)